

| 月 | 指導計画 | | 評価規準 | | | | 評価方法 |
|----|-----------------------------|---|----------|--|--|---|---|
| | | | 関心・意欲・態度 | 感受や表現の工夫 | 表現の技能 | 鑑賞の能力 | |
| 4 | 新しい仲間と声をそろえ、伸び伸びと歌えるようにしよう。 | 豊かに美しく響きあう歌声で、友達と歌い合わせる喜びを味わわせ、音楽を愛好する心情を育てる。 | 4 | ・歌声の響きに関心を持ち、豊かで美しい響きで歌おうとしている。 | ・共鳴する歌声の響きを感じ取り、発声法を工夫し、曲のイメージに合った歌い方ができる。 | ・全体の響きに気をつけて歌唱表現する技能を身につけている。 | 授業観察 提出物 実技テスト 感想文 期末考査 |
| 5 | 情景をイメージして音楽を聴こう。 | 楽曲の構成や楽器の特性に関心をもたせ、情景を想像しながら聴く態度を養う。 | 4 | ・楽曲の構成や楽器の特性に関心をもたせ、様々な旋律が創り出す情景に関心をもっている。 | ・各楽器の旋律や強弱が呼び起こす曲想の変化を感じ取り、情景を想像している。 | ・各楽器の旋律や強弱と曲想との関わりを意識して、情景と結びつけて楽曲を聴き、文章で表現できる。 | |
| 6 | 日本の歌の歌詞の内容や曲想を感じ取って歌おう。 | 日本語の美しさを生かした旋律の美しさを感じとり、表現に生かして味わう能力を養う。 | 6 | ・日本語の美しさを感じ取り、表現に生かして味わうことに意欲的である。 | ・歌詞の意味や背景にある心情を感じ取り、詩と旋律の美しさを生かす歌唱表現を工夫している。 | ・日本語の美しさや歌詞の背景にある心情や情景を味わって、表現する技能を身につけている。 | |
| 7 | 合唱コンクールに向けて取り組みを始めよう。 | 形式、記号などを正確に理解し、各声部の役割と豊かな響き、歌詞の内容に合った表現を工夫しよう。 心を合わせた合唱表現の良さを味わって楽曲を仕上げる態度を養う。 | 3 | ・楽曲の特徴を捉え、心を合わせて合唱表現に取り組むことに意欲的である。 | ・曲の構成を理解し、声部の役割を感じ取り、歌詞の内容に合った表現を工夫している。 | ・声部の役割や歌詞の内容と曲想の関わりを意識して、楽曲全体を聞き取っている。 | |
| 8 | 合唱コンクールに取り組もう。 | 7月からの取り組みをより充実させていく。 | 1 | ・混声合唱において自分の声の音色に関心を持ち、意欲的に練習に参加している。 | ・言葉の抑揚、アクセント、鼻濁音などの表現法に気をつけて曲に相応しい歌唱表現をしている。 | ・混声合唱の響きに適する自分の声を意識して、歌唱表現を工夫する技能を身につけている。 | |
| 9 | 詩と音楽が一体となっている歌曲の表現効果を感じ取ろう。 | 物語と音楽の密接な関わりを理解し歌と伴奏の役割を感じ取る能力を養う。 | 4 | ・物語と音楽の関わりや、歌と伴奏の役割に関心を持ち、意欲的に聴いている。 | ・物語と音楽の関わりや、歌と伴奏の役割を感じ取っている。 | ・楽曲の構成と物語の関わりとの密接さを理解し、楽曲全体を聞き取り、文章で表現できる。 | |
| 10 | 基礎的な楽典の内容を理解しよう。 | 音階、強弱記号、速度記号、反復記号などを理解し、充実した合唱表現ができるようにしよう。 | 5 | ・積極的に学び、覚えることに意欲的である。 | ・積極的に学び、覚えて、合奏や合唱に生かせる工夫をしている。 | ・積極的に学び、覚えて、合奏や合唱の演奏に生かしている。 | |
| 11 | | | 3 | | | | |
| 12 | | | | | | | |
| 1 | 和楽器の音色に親しもう。 | 和楽器の歴史を理解させ、音色の豊かさや奏法の特徴を感じ取り、自国の文化を大切に作る心情を育てる。 | 5 | ・和楽器の音色に関心を持ち、演奏に意欲的に取り組んでいる。 | ・和楽器の歴史を理解させ、音色の豊かさや奏法の特徴、表現の工夫を感じることができ | ・実際に和楽器を演奏し、奏法の特徴を学び、音色に親しむことができる。 | 授業観察 提出物 実技テスト 期末考査 |
| 2 | 儀式で心に残る合唱を創ろう。 | 歌詞の内容や曲想を理解し、卒業式という場にふさわしい合唱表現を工夫する態度を養う。 | 5 | ・感謝や惜別の気持ちを込めて、曲想を生かして歌うことに意欲的である。 | ・曲想や声部の役割を感じ取り、卒業式という場にふさわしい合唱表現を工夫している。 | ・感謝や惜別の気持ちを込めて、合唱表現する技能が身につけている。 | |
| 3 | 基礎的な楽典の内容を理解しよう。 | 音階、強弱記号、速度記号、反復記号などを理解し、充実した合唱表現ができるようにしよう。 | 3 | ・積極的に学び、覚えることに意欲的である。 | ・積極的に学び、覚えて、合奏や合唱に生かせる工夫をしている。 | ・積極的に学び、覚えて、合奏や合唱の演奏に生かしている。 | |